



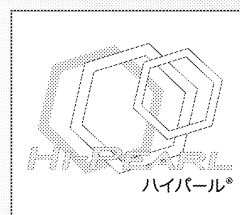
ナケレバ、ツクレバ。

夢がなければ → つくればいい。希望がなければ → つくればいい。元気がなければ → つくればいい。コドモの頃を思い出そう。無敵のヒーローだって、タイムマシンだって、自分のアタマで、素敵につくりだしてたよね。今ないものを思い描く「発想力」が、クレハの強み。それをカタチにする「技術力」が、クレハの誇り。ナケレバ、ツクレバ。どこにもない今日を、想像もつかない明日を、どんどんつくれば → 未来がもっと好きになる(と、いいね)。

株式会社クレハ 〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2



◆パラクロン
[アクリル酸エステル系ポリマー]
熱可塑性のアクリル酸エステル系ポリマーで、耐熱性に優れ、柔軟性、粘着性を有します。



◆ハイパール
[メタクリル酸エステル系共重合ポリマー]
熱耐性、透明性に優れており、高分子量で狭い分子量分布を持っています。



◆アートレジン
[反応性クレタックアクリレートオリゴマー・ポリマー]
電子線・紫外線・可視光・常温硬化型樹脂等のベースレジン・改質剤として使用されます。



◆アートパール
[真珠機能性微粒子ポリマー]
耐溶剤性、再分散性に優れた真珠状微粒子ポリマー微粒子です。



NEGAMI CHEMICAL INDUSTRIAL CO., LTD.
根上工業株式会社

〒929-0125 石川県能美市道林町口の22番地
Tel: 0761-55-3121 Fax: 0761-55-4412
http://www.negamikogyo.co.jp/index.html

ポリマーの限らない未来を求め、
私たちは挑戦し続けます。

樹脂

自動車燃費改善へ 採用増加に期待

PPS設備増強

今後、高成長見込む

自動車業界で進む燃費性能改善への取り組みを追い風に、樹脂の採用機運が高まっている。自動車の世界生産の増加に加え、軽量化ニーズにより車体1台当たりの樹脂採用量の増加が見込める。富士キメラ総研がまとめた調査では自動車用樹脂の世界市場は2012-16年に平均4.3%成長し、16年に5兆5043億円となる見通しだ。

耐熱性や機械強度などに優れるスーパーエンジニアリングプラスチックの一つ、ポリフェニレンサルファイド(PPS)の需要が伸びている。PPSは寸法安定性や成形性に優れるのも特徴。電装品の筐体や排気系部品などとして金属代替が進んでいる。

DICは今夏、日欧で計約100億円かけて設備増強し、コンパウンド(ガラスや添加剤を混練したもの)のベースの年産能力を現状比40%増の3万3500トに引き上げた。自動車の電装品関連部品などを中心に需要を開拓していく。



ホンダの新型フィットHV



東レのコンセプトカー

外資系各社も 日本に再注目

これまで欧州系の自動車メーカーと比べて、日系自動車メーカーは樹脂の採用拡大に対して慎重な対応をしていたとされる。最近になって車体軽量化を一層進め、日系メーカーも樹脂の採用比率を引き上げると期待されている。外資系の化学メーカーはこの商機を逃すまいとしている。

オランダのDSMのグループ会社であるディーエスエムジャパンエンジニアリングプラスチックは3月に横浜市に試験の拠点を開設した。特殊ナイロンなどを使った成形品を試作する。ヘンケルジャパンも横浜の開発拠点にアルミ

ニウム用酸化チタン被膜加工の試作設備を設置。自動車や船舶用エンジン部品などを対象とする。両社とも日系自動車メーカーに採用を働きかける目的で、日本で試作開発機能を強化している。自動車メーカーは設計の現地化比率を高める一方で、原価低減を目的に車台プラットフォームの共用化を進めている。この開発は本社が担うことが多い。そのため自動車メーカーの本社に自社の部品が採用されれば、世界各国で生産される車体に採用が広がるチャンスが生まれる。

HV向けが伸長

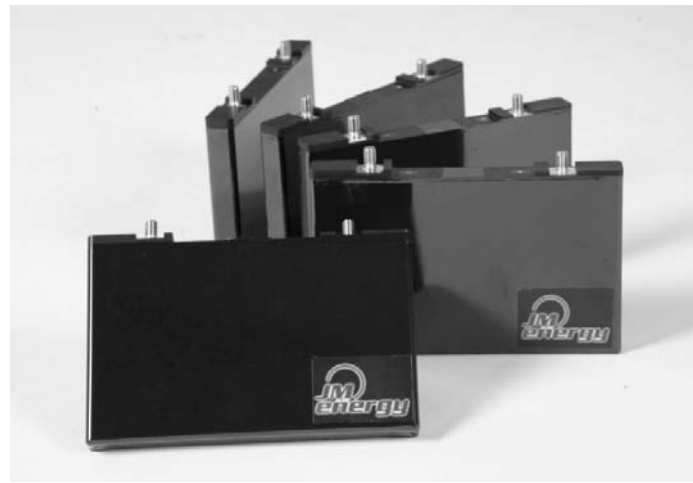
バッテリー

LIB用セパレーターで世界シェア首位の旭化成は車載用の需要拡大をにらみ、中国に新たな製造拠点を完成させたほか、宮崎県日向市の生産拠点を設備増強を実施。東ソーは子会社の東ソー日向で今春に車載用の正極材に使うマンガン酸化物の設備を増強した。三井化学も車載用途を含むLIB市場の成長を見込み、中国に電解液を製造する合弁会社を設立。2014年5月の稼働を計画する。

EVは航続距離と価格が壁となり普及が進んでいないが、15年ごろには各社がEVの販売攻勢に出ると期待される。1台当たりの搭載量は少ないものの、ホンダのフィット

自動車向けバッテリー市場が活性化している。リチウムイオンバッテリー(LIB)の需要先として期待される電気自動車(EV)の普及ペースは鈍いものの、ハイブリッド車(HV)向けの需要が伸長。アイドリングストップ機能を備えたガソリン車向けにもLIBをはじめ各種のバッテリー需要が見込まれており、同市場は多様性を帯びている。

リチウムイオンバッテリー 多様なニーズ対応



JSRグループのリチウムイオンキャパシタ

トハイブリッドなどHVにLIBが採用される例が増えている。クレハなどが出資するクレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンでは自動車用ハイブリッドカーにLIBを相次いで採用されている。同社は実績のある石油ピッチ由来に加え、植物油由来のカーボンの量産も来春以降に見据える。HVにはモーター動力だけで駆動するものや、モーターをエンジン動力の補助に使うものなどさまざまなタイプがある。材料も携帯電話などに使われる民生用と比べて車種ごとの多彩な要求に対応する必要があるという。アイドリングストップ車にはLIBや電気二重層キャパシタのほか、リチウムイオンキャパシタ(LIC)の採用機運も高まっている。JSR傘下のJMエナジーは車載用途の需要を取り込むため、試験データの充実を図る。旭化成とFDKが出資する旭化成FDKエナジーデバイスや日立化成子会社の新神戸電機もLICを手がける。

»私たちのイノベーションのほとんどが目に見えるものではありませんが、なくてはならないものばかりです。«

WHAT IS PRECIOUS TO YOU?

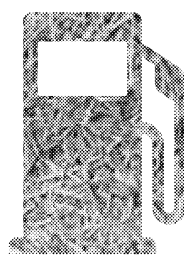


無限の色材と素材

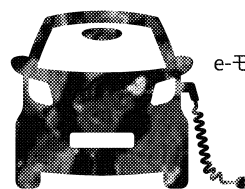
より自然に近い化粧品

環境に優しい難燃剤

CLARIANT



葉から作るバイオ燃料

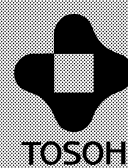


e-モビリティの強化

クラリアントは価値を創造するスペシャリティケミカル会社です。

いつも目に見える訳ではありませんが、クラリアントの製品は確実に世界を変えています。9500を超える特許を駆使し、クラリアントのスペシャリティケミカルは、様々な分野で重要なソリューションを提供しています。生活をより美しく、より安全に。そしてより地球に優しいものにするために、クラリアントは日々新しいアイデアを提案し、新たな可能性を探し続けています。それが私たちが大切にしていることです。あなたの大切なものはなんですか？

クラリアントジャパン株式会社
〒113-8662 東京都文京区本駒込二丁目28番8号
文京グリーンコートセンターオフィス9階
TEL 03-5977-7890(代)



空の下には、暮らしがある。
笑っている人。泣いている人。怒っている人。目には見えないけれど、しっかりと見えてほしい。この空の下には、たくさんの暮らしがあることを。そのひとつひとつに、かけがえない時間が流れていることを。化学は、どこまで人にやさしくなるのだろうか。

人、社会、地球のための化学へ。

東ソー株式会社 東京都港区芝3丁目8番2号 〒105-8623 TEL 03(5427)5103 (広報室) ホームページ http://www.tosoh.co.jp
●主な事業分野/オレフィン事業 ポリマー事業 化学品事業 セメント事業 有機化成事業 バイオサイエンス事業 高機能材料事業